

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	美術館実技講座事業		基本目標	美術館の充実			
担当課(局)・係	社会教育課(美術館)	総務学芸係	記入者	中野恵一	評価者	三嶋俊宏	開始年度 H22 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 町内在住者を中心とした美術に興味ある初心者に対して 意図・目的 地域の芸術文化の発信地として、文化活動の場を積極的に提供していく。							
事業の内容	今回で8期目。絵手紙・デッサン・重ね切り絵の実技講座を毎月1回開講。下半期に写真技術の講座を毎月2回開講。最終月に、一年間の成果発表の場として「実技講座生徒作品展」を開催。							
22年度決算額	60	千円	23年度予算額	180	千円	事業従事者数	H22 0.28 人 H23 0.28 人	
主な支出項目	講師謝礼	60	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	2,015 千円
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	1,998 千円
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0 %
			千円	一般財源	180	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
			千円			千円		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 H25 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A	%				
繰越額		#N/A	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 受講者数	受講者数の増加で、芸術文化活動に親しんでもらい美術館利用を促す。	
	2 講座数	受講者のニーズに合わせた、多種多様な講座を開講する。	
	3 観覧者数	作品発表展に訪れた観覧数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布	
	2 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼	
	3 自主講座数	実技講座卒業生が自主的に集まり制作活動を続ける	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	受講者数	目標値	40	40	40	
		実績値	52	41		
		達成率	130.0%	102.5%		
	講座数	目標値	講座	4	4	3
		実績値		5	4	
		達成率	%	125.0%	100.0%	
	観覧者数	目標値	人	500	500	500
		実績値		335	423	
		達成率	%	67.0%	84.6%	
活動指標	広報活動数	目標値	回	3	3	3
		実績値		3	3	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	回	2	2	2
		実績値		2	2	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	自主講座数	目標値	講座	10	10	10
		実績値		9	6	
		達成率	%	90.0%	60.0%	

事務事業名	美術館実技講座事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-----------	--------	------------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		13	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>当事業は美術愛好者の底辺拡大に大きく貢献している。中央公民館における専科教室との差別化を図るためにも、美術館ならではの講座を実施しており、今後も類似団体の動向を踏まえ事業内容の吟味を行っていく。非常に人気が高く、西都児湯地区外からの応募もあり、講座によっては定員の2倍以上の応募がある状況である。また履修生が年度終了後にグループを作り、翌年度以降自主教室という形で美術館の継続利用をしており、入館者増・使用料増につながっている。講座数を増やす事も検討すべきと思う。</p>	今後の方向性																						
			<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充					○	現状維持						縮小						廃止			
拡充					○																				
現状維持																									
縮小																									
廃止																									

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎企画展が美術館運営の基礎となるので、少ない費用でより高い効果をもたせたい。 ◎美術館の入館者増加を図るには、どのような企画で、経費はどう工面するのかなど毎年検討するのではなく、長期的計画を持って取り組むべきと考える。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	